

能登町名誉町民

羽根万象さんが逝去

日本画家、日展参与であり、能登町名誉町民の羽根万象さん（本名 為雄、宇出津出身）が8月8日に逝去されました。享年88歳。

羽根万象さんは大正8年宇出津に生まれ、18歳のときに夢であった画家を志して上京しました。

日本を代表する美術展覧会の一つである「日本美術展覧会（日展）」で「ビル街（昭和35年制作）」、「暮色（昭和37年制作）」が特選となり翌年



より日展出品委嘱となりました。昭和62年には生まれ故郷である旧能登町に作品49点、小下図38点、スケッチ38点を寄贈され、平成元年にはこれら作品を展示する町立羽根万象美術館が遠島山公園に開館。

平成2年11月に名誉町民に推薦され、日展審査員、日展評議員を経て、平成11年には日展参与となるなど活躍されていました。

心からご冥福をお祈りいたします。

羽根万象先生を悼む

能登町長 持木一茂

ここ数年、体の調子を崩されて能登町へお帰りになれなかった羽根万象先生ですが、きつと回復されて元気な姿を見せていただけると信じていたところ、突然この訃報をお聞きし誠に残念でなりません。

旧能登町の皆さんであれば、先生のことを知らない方はいないのではないのでしょうか。自らの私財をもって「羽根万象賞」を創設され、郷里の子どもたちへ絵画の講義と指導をされるなど、町の芸術・文化の発展に寄与された功績に対し、ただただ感謝するばかりです。

能登町役場4階ホールの襷帳には、先生の作品が描かれています。秋の富士山、空、湖、そして紅い紅葉と青い松が力強く描かれ、人生を説いているようにも感じられるこの力強い作品に、私も何度か勇気づけられてきました。先生の残された素晴らしい作品は未来永劫、能登の地に生き続け、先生の情熱は私たちの心に芸術の光を灯し続けることでしょう。先生のご冥福を心からお祈りいたします。



目次

名誉町民 羽根万象さんが死去	3
能登町百景決まる 町の魅力ある景観を「能登町百景」として選定	4
はじめよう、下水道のある暮らし①	8
人の中に Vol.15 サルビアロード管理人	10
公民館通信 第3号 ～神野公民館～	12
能登町祭り歳時記 ～恋路・松波・姫・鶴川編～	14
雑損控除／選挙結果／新ALITがやってきた	16
まちのできごと ござれ祭り／ジャパンテント／五郎左エ門分遺跡発掘調査説明会 など	18
くらしの掲示板 お知らせ／募集／催し／相談／能登町クイズ100選 後期高齢者医療制度 など	20
文化&スポーツ案内・結果	24
図書館・児童館案内 遊々能登～奥能登イベント情報～	25
安心安全まちづくり／入札結果	26
健康インフォメーション	28
有線テレビ番組案内	30
こせきのまど／寄付／人口動態	31



◀今月の表紙

珠洲・内浦の農業青年グループ「珠洲めぐり倶楽部」が清真地区の遊休地を利用して今年初めて「ひまわり迷路」を作りました。約6万本のひまわりが夏の太陽を浴びて輝き、町内外からたくさんの方が見物に訪れていました。



4 能登町百景を審査する写真家・梅佳代さん



10 ドライバーを優しく迎えるサルビアロード



14 能登町の「元気」をアピールするアブラモノ